

災害と資料保存

～備えと被災時の対応、修復から復興まで～

2012年 **2月25日(土)** 午後**2時～4時30分**

※ 水損資料の乾燥作業実習も行います

講師：青木 睦 氏

会場：国文学研究資料館 2階オリエンテーション室

多摩都市モノレール立川北駅より2分高松駅下車 徒歩7分

中央線立川駅北口バス2番のり場より裁判所前下車徒歩5分

立川市緑町10-3 (電話：050-5533-2900)

集 合：国文学研究資料館入口に午後1時50分まで

参加費：500円 定 員：30人

先着順 (事前申し込み優先) 申し込みはメールかFAXで

東日本大震災では多くの図書館が被災し、津波や設備損壊による流出や水損、落下による破損、放射能汚染など、資料にもさまざまな被害が生じています。

資料を保存し利用し続けるための災害への備え、被災時の対応、被災地への支援などについて、史料保存の分野で活躍され、災害現場からの史料救助経験を豊富にお持ちの青木睦氏に、具体例をまじえたお話しをうかがうとともに、作業実習も行います。

資料を失わないために、いま学び考えて行動を起こしてみませんか。



主催：NPO法人共同保存図書館・多摩

青木 睦 (あおき むつみ) 氏

国文学研究資料館研究部准教授 (専門分野 史料管理学)。史料保存・管理、修復に関する論文多数。文化財レスキュー活動に積極的に取り組み、3.11 震災以後は岩手県釜石市を中心に支援を行っている。

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

〒182-0011 調布市深大寺北町 1-31-18

●HP : <http://www.tamadepo.org/> ●E-Mail : depo_tama@yahoo.co.jp

●TEL&FAX : 042-484-3945 (不在が多いので留守番電話かFAXでお願いします)